

2022年度

第22回 2022年12月16日

「木質バイオマス発電の現状と課題」(鹿児島)：幹事 木質バイオマス利用研究会

木質バイオマスエネルギー利用の現状と関連施策
 木材利用を取り巻く状況変化と木質バイオマス利用
 木質バイオマス発電事業における燃料集荷の状況について
 鹿児島県における木質バイオマス燃料供給の実態

日比野佑亮（林野庁）
 久保山裕史（森林研究整備機構）
 森野博之（バイオマス発電事業者協会）
 前田清水（前田産業）

2022年12月17日

見学会 「鹿児島県木質バイオマス発電施設」

2021年度

第21回 2021年12月20日

「カーボンニュートラルに貢献する木質バイオマスのマテリアル利用」(オンライン)：幹事 アルコール・バイオマス研究会

キーノートレクチャー カーボンニュートラル実現に向けた取り組み～バイオエコノミーの視点から～
 セルロース利用事例1 木材パルプから作られる機能性フィルム・環境対応素材について
 セルロース利用事例2 日本製紙でのセルロースナノファイバーの開発状況
 リグニン利用事例 低縮合リグニンによる土壌改質技術
 成分抽出・利用技術など 湿式粉碎と酵素反応を複合した植物高分子の新しい抽出・利用技術の開発

水無 渉（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
 杉山公寿（レンゴー）
 金野晴男（日本製紙）
 藤井亮輔（花王）
 敷中一洋（産業技術総合研究所）

2020年度

第20回 2020年11月13日

「バイオマスエネルギーの社会実装」(オンライン) : 幹事 バイオマス利用研究会

京都市でのバイオマスの取組
 サーキュラーエコノミーに基づく地域バイオコミュニティの構築
 木質バイオマス発電設備に関する最新状況
 バイオマスエネルギーの地産地消とその将来展望

長谷川一樹(京都市環境政策局)
 田丸 浩(三重大学)
 荒木健太郎(タクマ)
 森朝昭典(ヤンマーエネルギーシステム)

2019年度

第19回 2019年12月3日

「マテリアル利用が先導するバイオマス利活用のイノベーションの成果」(木材会館) : 幹事 日本木材学会バイオマス変換研究会

パームオイル産業から排出されるバイオマス資源のポテンシャルとその利用展開
 国産リゲエン資源を活用するニュービジネス
 今、生分解性プラスチックに求められること - 生分解性繊維の観点から -

小杉昭彦((国研)国際農林水産業研究センター(JIRCAS))
 山田竜一(森林研究H整備機構、リゲニンネットワーク)
 岩田忠久(東京大学)

2018年度

第18回 2019年1月15日

「日本の森林と小型ガス化炉の最先端」(広島大学): 幹事 日本エネルギー学会バイオマス部会

日本の森林の活性化に向けて
 小型ガス化導入の初期から現状まで
 超小型木質バイオマス発電設備Volter 4 0 も紹介並びに稼働状況について
 木質ペレット製造とブルクハルト社木質ペレットガス化熱電併給装置
 ホルツエナジーCHPの日本普及

吉岡拓如 (東京大学)
 竹林征雄 ((N P O) バイオマス産業社会ネットワーク)
 駒田忠嗣 (VOLTERJAPAN合同会社・VOLTER秋田)
 中川秀樹 (三洋貿易)
 三村和壽 (バイオマス利活用技術舎)

2017年度

第17回 2017年12月5日

「海洋・水生バイオマス利用の最先端」(全国家電会館): 幹事 化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会

微細藻類の生産と利用
 微細藻Botryococcus brauniiによる炭化水素生産
 海洋ケイ藻による原・燃料用オイル生産技術開発とその将来像
 ミドリムシのバイオマス資源としての可能性
 大型藻類を徹底的に利用する

渡辺 信 (筑波大学)
 長谷川文生 (東京大学)
 松本光史 (電源開発)
 鈴木健吾 (ユーグレナ)
 中島田 豊 (広島大学)

2016年度

第16回 2016年12月2日

「木質バイオマス利用の現状と課題」(鹿児島大学) : 幹事 木質バイオマス利用研究会

バイオマスマテリアル利用とエネルギー利用の最適配分

小池浩一郎(島根大学)

木質バイオマス燃料供給の課題

久保山裕史(森林総合研究所)

鹿児島におけるバイオマス利用の特徴

寺岡行雄(鹿児島大学)

薩摩川内市竹バイオマス産業都市構想の取り組みについて

久保信治(薩摩川内市新エネルギー対策課)

バイオマスの水素利用

平田好洋(鹿児島大学)

2016年12月3日

見学会 「鹿児島県内 木質バイオマス利用施設」

2015年度

第15回 2015年11月13日

「木質バイオマス利用の現状と課題」(東京大学弥生講堂アネックス) : 幹事 アルコール・バイオマス研究会

「木質バイオマスを原料とした発電事業および水素製造事業の商用技術確立を目指して」

堂脇直城(ジャパンプルーエナジー)

「食品残渣からのバイオ水素製造法の開発と実証」

岡田行夫(サッポロビール)

「リグニン分解物から有用なベンゼン誘導体への変換を目指して: 新触媒開発」

野崎京子(東京大学)

「セルロースナノファイバー開発への取り組み」

磯貝 明(東京大学)

2014年度

第14回 2014年10月20日

「バイオマスの可能性 ～微細藻類と森林資源の利活用について～」(同志社大学) : 幹事 バイオマス利用研究会

バイオ燃料生産における微細藻の可能性

福田裕章(デンソー)

微細藻類を使った燃料油製造

松澤克明(IHI)

木質バイオマスの化学的利用に向けて

野中 寛(三重大学)

バイオマスガス化発電への取り組み

脇坂裕昭(ヤンマー)

2013年度

第13回 2013年10月25日

「マテリアル利用が先導するバイオマス利活用のイノベーション」(東京大学弥生講堂一条ホール) : 幹事 日本木材学会バイオマス変換研究会

木材のマテリアル利用とエネルギー利用の理想的な共存化

鯨島正浩(東京大学)

バイオマスの価値を向上させるリグニンの高度マテリアル利用システムの開発

山田竜彦(森林総合研究所)

未来の車は植物で創る - セルロースナノファイバーで見る夢 -

矢野浩之(京都大学)

バイオマス利活用によるバイオプラスチックの進展拡大

猪股 勲(日本バイオプラスチック協会)

2012年度

第12回 2012年11月6日

「日本版FIT 制度によりバイオマス利活用がどう変わるか？」（全国家電会館）：幹事 日本エネルギー学会バイオマス部会

固定買取制度とバイオマスビジネスの活用性について

石引裕貴男（資源エネルギー庁）

山林業から見たFIT制度

山本幸一（森林総合研究所）

FIT制度による木質ブ、バイオマス発電事業の課題と展望

朝野賢司（電力中央研究所）

再生可能エネルギー電力買取制度(FIT)がバイオマス利活用にあぼす影響について

泊 みゆき（(NPO)バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)）

2011年度

第11回 2011年11月9日

「バイオマス変換技術の今」（キャンパスプラザ京都）：幹事 化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会

非可食バイオマスからのバイオ燃料製造技術開発

近藤昭彦（神戸大学）

熱の解技術の最新動向と分子レベルでの視点からの考察

河本晴雄（京都大学）

バイオマスガス化・BTLi支術の研究動向と今後の展望

坂西欣也（産業技術総合研究所）

2010年度

第10回 2010年11月18日

「木質バイオマス利用のさらなる拡大に向けて」（東京大学弥生講堂・一条ホール）：幹事 化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会

石炭混焼利用における技術的課題と方向

大高 円（電力中央研究所）

木質バイオマス活用への取組み事例について

安本浩之（中国電力）

下川町役場周辺における地域熱供給の取組み

高橋祐二（下川町 地域振興課）

木質燃料チップ供給の現状と可能性

中野 光（遠野興産）

木質ペレットの内外需要動向と今後の展望

水田 照（三菱商事）

2009年度

第9回 2009年10月26日

「ポスト資源消費文明に向けたアルコール・バイオマス研究」（如水会館）：幹事 アルコール・バイオマス研究会

バイオマス栽培からエタノージレ製造までの一貫生産システムの開発

三橋秀一（バイオエタノール革新技術研究組合）

地域活性化のためのバイオマス利活用へ向けた農林水産省の取組

片山秀策（農業・食品産業技術総合研究機構）

パイオディーゼル燃料生産：世界の技術も視野に入れた国内開発事例の紹介

鍋谷浩志（農業・食品産業技術総合研究機構）

国内外のBTL技術開発状況と今後の展開

長坂西欣也（産業技術総合研究所）

新ジャンル『麦とホップ』の開発

坂下聡一（サッポロビール）

2008年度

第8回 2008年10月10日

「バイオ燃料製造の新技术 その現状と展望」(如水会館) : 幹事 バイオマス利用研究会

木質バイオマス資源利用の現状と展望

沖森泰行(環境総合テクノス)

ヤトロファ植栽の新しい姿と展望

合田 真(日本植物燃料)

F1合成技術の現状と将来

藤本健一郎(新日本製鐵)

アセトン・ブタノール(ABE)発酵とブタノール抽出技術 現状と展望

小林元太(佐賀大学)

消化ガスおよび汚泥ガス化によるバイオガス製造技術

天野寿二(東京ガス)

バイオ燃料製造技術の新展開の可能性

坂 志朗(京都大学)

2007年度

第7回 2007年11月16日

「バイオマスのアジア展開」(損保会館) : 幹事 日本エネルギー学会バイオマス部会

東アジアのバイオマス資源とその利活用のために

森 隆(国際農林水産業研究センター)

アジア地域におけるバイオマスと利用の現状

法貴 誠(三重大学名誉教授)

CDM制度とバイオマスプロジェクト

前垣内正記(日本品質保証機構)

2006年度

第6回 2006年10月26日

「バイオリファイナリー」(広島ガーデンパレス) : 幹事 化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会

木質系チップを有効利用したバイオリファイナリー
 バイオマスタウンの実現に向けた取り組み
 中国地域におけるバイオマス利活用の取り組み

西本徹郎、大滝義博、藤川直弘(ジュオン)
 望月和博(東京大学)
 渡遇 誠(中国経済産業局)

2005年度

第5回 2005年12月15日

「木質バイオマス利用の現状と展望」(後楽園会館) : 幹事 木質バイオマス利用研究会

最近の木質バイオマスの直接燃焼発電事例
 日本における木質ペレット利用の推進について
 微粉炭焚きボイラでの木質バイオマス混焼の実施状況について
 森林バイオマスによるガス化発電技術の開発とその課題
 スウェーデンでの木質ガス化発電と液体燃料製造
 木質バイオマス利用の推進について

藤井重雄(タクマ)
 中島浩一郎(銘建工業)
 土取孝弘(四国電力)
 笹内謙一(中外炉工業)
 小池浩一郎(島根大学)
 河野元信(農林水産省林野庁)

2004年度

第4回 2004年11月10日

「バイオマス液体燃料をめぐる新たな動向と課題(原料問題から走行試験まで)」(東京大学弥生講堂) : 幹事 アルコール・バイオマス研究会

| | |
|--|------------------------------|
| バイオマス原料としての建設廃材の現状と将来動向 | 彦坂武功 ((NPO)全国木材資源リサイクル協会連合会) |
| 十勝地方のバイオマス資源とエネルギー利用の取り組み | 田中 隆 (北海道開発局) |
| 液体バイオマス燃料をめぐる新たな動向 - 世界バイオマス会議 2004とバイオ液体燃料の動向 - | 斉木 隆 (アルコール協会) |
| バイオ燃料の現状と課題 | 赤坂行男 (ジャパンエナジー) |
| バイオマスエタノール)レの燃料適用性試験について | 後藤新一 (産業技術総合研究所) |
| バイオマスガス化によるメタノール)鷗液体燃料転換技術開発 | 石井弘実 (三菱重工業) |
| セルロース及びキシロース発酵性アーミング酵母の育種 | 近藤昭彦 (神戸大学) |
| 廃建材からのエタノール)熙造プロセスの開発 | 奥田直之 (月島機械) |
| 新規バイオディーゼル燃料製造技術開発 | 坂志 朗 (京都大学) |

2003年度

第3回 2003年10月21日

「液体バイオ燃料利活用の動向と展望」(キャンパスプラザ京都) : 幹事 バイオマス利用研究会

| | |
|---|--|
| バイオマス・日本総合戦略の推進に向けて | 藤本 潔 (農林水産省大臣官房環境政策課長) |
| バイオディーゼル燃料に関する自治体の取り組み | 中村 夫 (京都市環境局) |
| バイオディーゼル燃料に関する欧米での取り組み ; 政策と規格/Biodiesel in Europe - Policy and Standardization | Dr. Manfred Wögetter (Federal Institute of Agri. Engi., Austria) |
| バイオエタノールの現状と展望 | 斉木 隆 (アルコール協会) |
| リグノセルロースからのバイオマスエタノール生産 | 種田 大介 (日揮) |
| 我が国の液体バイオ燃料に関する政策 | 荒木由季子 (資源エネルギー庁) |

2002年度

第2回 2002年12月1日

(日本教育会館) : 幹事 日本エネルギー学会バイオマス部会

ストーカーと流動層 安定性と経済性

小池浩一郎 (島根大学)

森林バイオマスエネルギーガス化利用のポテンシャル - 緊要性およびあるべき方向性について -

堀尾正靱 (東京農工大学)

メタン発酵の現状 と課題

澤山茂樹 (産業技術総合研究所)

バイオマスアルコール生産技術の現状と将来

森川 康 (長岡技術化学大学)

超臨界流体を用いたバイオマス利用技術の現状 と展望

松村幸彦 (広島大学)

天ぶら鍋から燃料へ ~バイオディーゼル燃料の利用・性能・動向~

山根浩二 (滋賀県立大学)

2001年度

第1回 2002年2月1日

(京都 リサーチパーク) : 幹事 化学工学会エネルギー部会バイオマス分科会

「木質バイオマスのポテンシャルと利用技術」

小池浩一郎 (島根大学)

「我が国におけるバイオマス資源量とエネルギー変換技術」

坂 志朗 (京都大学)

「バイオエネルギーの導入に向けての検討状況」

松村幸彦 (広島大学)

「バイオエネルギー利用による循環型社会の構築に向けて」

堤 敦司 (東京大学)